

平成25年度 環境技術実証事業 自然地域トイレし尿処理技術分野

第4回技術実証検討会 [議事要旨]

日時	平成25年12月2日(月)14:00～17:00
場所	港区生涯学習センター ばるーん 304 学習室
出席者	<p>検討員</p> <p>岡城 孝雄 (公財)日本環境整備教育センター 企画情報グループグループリーダー  河村 清史 元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授  酒井 光弘 山梨県観光部観光資源課 総括課長補佐 代理出席  桜井 敏郎 (公社)神奈川県生活水保全協会 理事  穂苅 康治 槍ヶ岳観光(株) 代表取締役</p> <p>環境省</p> <p>森 豊 大臣官房参事官(自然環境局自然環境整備・温泉担当)  一瀬 克久 自然環境局自然環境整備担当参事官室 係長  津田 京子 自然環境局国立公園課 課長補佐  宮下 康彦 総合環境政策局総務課環境研究技術室 調整係</p> <p>試料採取・分析機関</p> <p>高橋 悟 (公財)日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第2チーム兼国際支援企画室  濱中 俊輔 (公財)日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第2チーム 研究員  岡崎 貴之 (一財)日本環境衛生センター 東日本支局 環境工学部 環境施設課 係長  事務局 (特定非営利活動法人 山のECHO)  上 幸雄、 加藤 篤、 平澤恵介</p>
欠席者	<p>相野谷 誠志 (株)蒼設備設計 設備設計部 課長  荒井 洋幸 山梨県観光部観光資源課 課長  木村 茂雄 神奈川工科大学機械工学科 教授</p>
傍聴者	<p>江草 清行 (株)環境保全事業  塩谷 照夫 三協興産(株)</p>
議事	<p>1.開会  2.議事</p> <p>(1)実証試験結果の検討(非公開)  (2)実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討  (3)セミナー開催案、広報・PR方法の検討</p>
配布資料	<p>資料1 水循環式バイオ水洗トイレ 実証試験経過報告 &lt;非公開&gt;  資料2 自動制御バイオ型・し尿分離処理システム 実証試験経過報告 &lt;非公開&gt;  資料3 実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討(案)  資料4 第4回 自然地域トイレし尿処理技術セミナー 実施概要案  資料5 実証試験の実施状況と今後の予定  資料6 実証試験計画 気仙沼・(株)ミッシング &lt;非公開&gt;  資料7 実証試験計画 霧ヶ峰・大央電設工業(株) &lt;非公開&gt;</p>
公開/非公開	議事(1)は非公開で行われた

## **[議事要旨]**

### **○議事**

#### **(1) 実証試験結果の検討 <非公開>**

平成 25 年度の実証技術 2 社について、ここまでの分析結果の中間報告を元に、報告書作成に向けた検討を行った。

#### **(2) 実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討**

##### **【全体】**

- 山岳トイレの補助金申請時に、実証試験実施の有無を確認させるのはどうかとの意見があった。  
実証試験実施の有無ではなく、実証試験結果報告書の提出をさせるのはどうか。検討する必要がある。
- 技術実証検討会での助言に対し、改善されるかを書き込みたいとの意見があり、実証申請者にとっては改善効果をさらにアピールと考えられる。その場合は、どのように実証試験後に改良したか等を追跡するため、環境省への報告を推奨という形で載せてはどうかの意見があった。

##### **【環境省地方環境事務所への普及】**

- 環境省地方環境事務所が実証事業を把握していないケースがある。
- 環境省技術室の地方事務所のバナーに実証事業の告知を掲載するとの提案があったが、地方事務所の業務の性質上導入が見送られた経緯があり、結果として自然保護官も実証事業を知らないことがある。セクションを問わず実証事業として情報を共有していく必要がある。

##### **【都道府県への普及】**

- 都道府県の主幹首長会議への普及については、本省からではなく環境省地方環境事務所が説明を行う。

#### **(3) セミナー開催案、広報・PR方法の検討**

- セミナーの対象は山小屋だけでなく、「自然地域関係者全体に案内している」という点を明記した方が良い。
- プログラム内に、山小屋トイレ等の補助事業がある点を周知させることで、新たな実証申請者を開拓できると考えられる。
- プログラム案の「実証事業の可能性」については、「自然地域トイレの活用」に変更した方が良いとの提案があった。
- プログラムの「パネルトーク」内に、山岳団体、実証事業の経験者も入れたらどうかとの提案があった。
- 当日に講演を行わない検討員を含め、全員に技術セミナーに参加してほしいとの意見があった。

○今後の日程について

- 第5回検討会については、平成26年3月13日(火)の14時~17時に実施することとなった。
- セミナー開催当日の午前中に実証試験データの検討を行い、報告書の間接確認を行ってはどうかとの意見があった。

以上